

麦 笛 (第39号 令和3年4・5月)

令和3年度を迎えました。今年度もお子様達がのびのびと個性的に、成長することができますよう、職員一同力を合わせて、保育を行っていきます。宜しくお願い致します。今回は、卒園式でお話しさせて頂きました、つたない「祝辞」をご紹介します。

昨年度を振り返ると 年度当初には家庭保育にご協力を頂きありがとうございました。またここ2年間は行事や外部講師の方々の入室に制限が多くありましたが、11月には、栗山公園でかけっこの競争をし、先日YouTubeで最後のたいこの練習をお渡ししましたが、立派に叩くことができました。また陶芸教室とご縁が出来、卒園製作のコップ作りにも一から挑戦し本日お渡しさせて頂きます。誰も想像ができなかった、このような社会状況の中でも、常に、お子様達は元気いっぱいにご過ごすことができました。

さて、こむぎの卒園生は小学校でどのように過ごしているのでしょうか。

「かけっこの上位クラスはみんなこむぎの子ども達」「絵や作文が上手で複数入選している」など、先日は「小中学生による社会課題解決アイデアNo.1」という東京都主催の全国大会で東小5年生の卒園生が優勝し、ドバイ万博で小学生の日本の代表として、広報活動を担うというプレゼントをもらったというビックニュースも入ってきました。他にもとても嬉しいニュースがたくさんあります。その中でも、私が特に嬉しいと思っていることは、「こむぎの子ども達は、わからないことや困ったことを、はっきり先生に聞くことができます。」という卒園生のお母さまからの言葉でした。大人が頭ごなしに「こうしなさい」「こう決まっているから」と話してきたとき、子ども達が疑問に思ったことを率直に大人に聞き、理解したいと思う心が、今とても大切だと私は感じています。子ども達の人権を守ることが世界的に広がっています。それにも通じることだと思えます。これはこむぎ保育園の保育だけではできない、保護者の方々の、この6年間のお子様と育まれた月日が、このようにきちんと理解したいという思いを育てられた結果だと思えます。今年度の卒園生も、とても個性的で、友達思い、会話が得意なクラスでした。

このように素直なお子様の気持ちを小学校にいても、持ち続けていって欲しいと願っています。保護者の方々とともに歩むことができた日々を、職員一同心から感謝しています。

ありがとうございました。

卒園生とご家族皆様方のご健康とご多幸をお祈りし結びとさせて頂きます。



(卒園生との写真)



季節のテーブル係 (担当 杉田 内海 植原 平井)

進級、ご入園おめでとうございます！4月は、花紙で各クラスの花を作成致しました。5月はこいのぼりを飾ります。昨年からは季節のテーブル係は羊毛フェルトでの作品作りに力を入れており、今年度は更に種類を増やして賑やかにしていきたいと思っております。是非エントランスの飾り棚にご注目下さい。

